

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所 森吉山ダム管理支所
〒018-4512 秋田県北秋田市根森田字姫ヶ岱31 TEL:0186-60-7231 FAX:0186-60-7232
http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

森吉山ダム水源地域ビジョン実行委員 紹介 その1

森吉山麓の清流 阿仁川の自然と環境を守る 阿仁川漁業協同組合

森吉山ダム水源地域ビジョンとは、ダムを活かした流域圏の発展を目的として策定した、水源地域活性化の行動計画です。

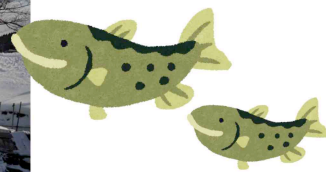
その水源地域ビジョン実行委員会にご参加いただいている委員の中から今回は、阿仁川漁業協同組合さんの取り組みについてご紹介いたします。

阿仁川漁業協同組合(松橋 憲作 代表組合長理事)は昭和35年に米代漁業協同組合から独立する形で発足されました。阿仁川のサケ・サクラマス事業を数々の苦難を乗り越えながら歩み続けてきたそうです。昨年も森吉四季美湖にイワナやヤマメ、サクラマス等を5000匹以上 放流しています。漁場の管理をして、魚を養殖し、放流するというサイクルをこれからも続けていきたいと話していました。

今年のダム周辺での取り組みとして、6月に森吉四季美湖でのイワナ等の放流、8月に阿仁川でのアユ釣り大会を計画しています。



北秋田市米内沢 養殖場



サクラマスの稚魚 (2月27日)

50年前は、各職場で仕事を休んでアユ採りを行う日があった、と昔を懐かしむ松橋憲作組合長。

森吉四季美湖に放流したサクラマスは3年が経過し、かなり大きくなっているようで、今後は四季美湖マスという名前を付け、ブランド化をしていきたいということでした。

森吉四季美湖の遊魚券は今年から広報館の喫茶店でも販売予定です。



阿仁川漁業協同組合 代表組合長理事 松橋 憲作さん

取材にご協力していただき有難うございました。



四季美湖 森吉山ダム周辺の自然 2月27日の様子

2月27日の様子

長い長い冬も終わりを迎ようとしています。2月27日の森吉山ダムは快晴。

前日に引き続いての暖気で、森吉四季美湖の湖面では氷が割れて大きな亀裂が入りました。(右上 写真参照) 湖面にはウサギの足跡もありました。

27日 午前9時の貯水位は147.88mと平常時の満水位から、ほぼ10m下がっています。これから4月5月の融雪に備え、冬の間から準備をしています。

ダムの水位が下がった時にだけ姿をあらわす、ちゆき山の頂上も、厚い氷を割って出てきました。(右下 写真参照)

現在の積雪は豪雪だった昨年よりも多く、ダムへ向かう県道にも高さ約3mほどの雪の壁ができています。(左 写真参照) まもなくやって来る春を指折り数える毎日です。



湖面の氷に大きなヒビ割れができました



水位が下がり、ちゆき山が見えています

【お問い合わせ先】 森吉山ダム管理支所 電話：0186-60-7231 広報館 冬期休業(12月～3月)しています。